

第8回 とよがわ流域県民セミナー質問シートについて

【大熊講師に対する質問】

質問内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎧堤に小堤を築堤し溢水、越水しても破堤しない堤防とし、浸水地域（水田等）に金銭保障すれば良いのでは。当然ながら住居地域は避ける。</li> </ul>	<p>同感です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越流から破堤に至るメカニズムを簡単にご説明ください。</li> </ul>	<p>堤防が弱いと一気に壊れますが、それなりに固い堤防であれば、徐々に洗掘されながら破堤にに至ります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私の実父はM. 39年生まれ、豊川市院之子町出身です。私が小学校の時、大洪水があり鎧堤を憎んだものです。一面には土地が肥えると言って良い面も悪い面もあると囲りの人は言いました。が、田畑はぐちゃぐちゃ、家畜はたくさん死にました。保障のことは知りませんが、何だか許せないとその時から成人する迄思っていました。郷土史の勉強で吉田城を守るためと聞いた時は悲しくなりました。ただ聞いてもらいたいだけです。今も吉田城近くの左岸には堤防が無いのは何故でしょうか？</li> </ul>	<p>遊水地に住んでいた人は、洪水のたびに苦難を負わされていたことは事実でしょう。しかし、歴史的にみると、遊水池に後から入植して、納得ずくで開発がすすめられた経緯もありますので、一概に否定することはできません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の恵みに近付くのは、危険に近付くということ。</li> <li>・ お話の中で、洪水した場所の一部、家屋移転の話はやはり国としてもそういった場所を的確に整理検証して国づくり、川づくりに努めて欲しいと思いました。</li> <li>・ 鎧堤の締め切りなどはこれに逆行し、また、ひとたび破堤した時の被害を増やすものと思いますが、大熊先生のご意見を伺います。（3.11でも日本一の堤防が、慢心を生んだのでは？）</li> </ul>	<p>強固な防波堤や巨大なダムができると、安心して、いざという時の備えが無くなります。新潟の紹介した水害事例では、上流にダムができたということで安心しきっていたことで被害が増大した面もあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤防強化の具体的な工法が紹介されましたが、連続地中壁工法、パワーブレンダー工法等、費用対効果、ダムの環境へのマイナス面を考慮して、なぜ国はダムにこだわるのか判りません。理由を知りたいと思います。もう狭い日本に、ダム建設の適地は残ってないのではないかと？</li> </ul>	<p>私も、国交省がダムにこだわる理由がよく分かりません。ここらで治水のあり方を変えるべきだと思います。</p>

第8回 とよがわ流域県民セミナー質問シートについて

【大熊講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>・坂路での越流の例（破堤しなかった例）2000年9月の庄内川洪水では、右岸4.5km地点（国道一号線一色大橋下流）で越流し、坂路に水が集中して堤防下に流れた。坂道路はアスファルト舗装がされていて、堤脚の下もアスファルト舗装がされていて流掘されず損傷が少なく破堤しなかった。このように坂路（ルート状になっていて水が集中しやすい）の舗装などが大切であることが分かった。</p>	<p>土でできている堤防でも、ちょっと工夫すればなかなか破堤するものではないと思います。治水は、堤防を強靱化すればいいのであって、ダムではいずれ土砂で満杯になり、治水効果は無くなります。</p>
<p>・河川流域の土地利用の今後のあり方に、新ビジョンはありますか。住宅密集を避けたいと思うのですが。 ・堤防強化法：薬液注入法において「薬液」は何ですか。</p>	<p>私が使った薬液は石灰系のものでした。</p>
<p>・洪水を防ぎ、森里川海の繋がりを確保するために兵庫県のように（武庫川のように）総合的治水対策を、流域全体で考えるべきではないか。</p>	<p>その通りだと思いますが、計画を超える洪水が来た時に対策を考えておくことが重要だと思います。</p>
<p>・鎧堤と霞堤の違いは？ ・その効果の違いとかはあるのですか？</p>	<p>豊川の鎧堤は洪水調節効果が大きいです。急勾配河川の霞堤はほとんど洪水調節機能はありません。</p>